

県政発足記念日

知事表彰

このたび次のかたがたが、平成16年度愛媛県政発足記念日知事表彰を受賞されました。

生活環境功勞



県浄化槽管理センター副会長
一色 伸二氏
(三津屋)

農林水産功勞



東予周桑地区農業委員会会長
北須賀 隆雄氏
(三津屋)

社会福祉功勞



県遺族会副会長
佐々木 一明氏
(丹原町石経)

建設功勞



元県建設業協会理事
服部 宗市氏
(丹原町今井)

伝統技能功勞



周桑手すき和紙紙すき工
松本 テツ氏
(桑村)

商工労働観光功勞



東予市商工会議所会頭
森川 義彦氏
(楠)

地方自治功勞



西条市長
伊藤 宏太郎氏
(大町)

『梅まつり』川柳・俳句・短歌大会入賞作品紹介

梅まつりの日（2/13）に市民の森で行われた大会には、川柳147句、俳句326句、短歌34首と、たくさんの投句をいただきました。
選考の結果、大賞および入賞となった作品を紹介します。（敬称略）

川柳（津田 暹選）

大賞

着ぶくれを笑われながら梅の坂

伊藤 凡々（小松町新屋敷）

入賞

梅一つおけば白粥華になる
梅林をおとぎ話が駆けてくる
梅まつり春のドラマのプロローグ

神田登茂子（神 拜）
山之内佐枝美（大 町）
伊藤 幸美（小松町新屋敷）

俳句（尾形千寿・稲井爽秋・渡部抱朴子選）

大賞

きのふ来て今日母つれて梅花観る

西山真由美（北 条）

入賞

百選の水湧く里や梅二月
梅が香を袂に入れし野点かな
梅咲いて川はひかりを流しをり

玉置英子（楠）
矢野真由美（船 屋）
豊田 桜史（丹原町湯谷口）

短歌（田坂 幸・高木 功・藤田虎雄選）

大賞

名水に指をひたせば大地より何億年のメッセーじ来る

池内由記子（松前町）

入賞

今年また山ふところの日溜りに梅の野点の席しつらへる
ハイウェイをくぐり踏み入る山ふところ梅花ざかり空へ連なる
どの枝も花の衣を身につけてすでに春なる梅の装ひ

稲井 達夫（洲之内）
岡田 まみ（大 町）
真鍋みづき（飯 岡）



▲当日は、考古歴史館で日本川柳協会常任幹事の津田暹氏（西条市生涯観光アドバイザー）による、『川柳における動詞の功罪』と題した講演が行われました。
会場には川柳愛好家が多数集まり、講演を熱心に聞いていました。